

令和5年度

事業実績報告書

事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所やしろ			職名	人数	備考
施設長・管理者名	児玉 和也			施設長	1名	
実施事業	小規模多機能型居宅介護事業			管理者	1名(兼務)	
開設年月日	平成22年5月1日			介護支援専門員	1名	
所在地	鳥取県倉吉市西福守町658番地			看護師	1名	
正規職員(総合職)数	3名			介護員	9名	
正規職員(一般職)数	0名			事務員兼介護員	1名	
準職員数	1名					
契約職員数	9名(内パート5名)					
定員	29名	実績利用者数 24名/日	充足率 83%	計	13名	
項目	事業計画			事業実績		
1 基本方針	要介護又は要支援者(以下「ご利用者様」という)が可能な限りその自宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営んでいただけるよう支援します。通い・訪問・宿泊の形態を適切かつ柔軟に活用していただき、家庭的な環境と地域住民との交流のもと、必要な日常生活の援助を行います。また、ご利用者様の孤立感の解消、心身機能の維持、身体及び精神的負担の軽減を図ります。					
2 運営	地域とのつながりを大切にし、ご利用者様と地域を結ぶ支援に努めます。 ご利用者様の視点で行動し、笑顔とまごころでふれあいます。 より良いケアを提供できるよう介護知識・技術を高めあい、スキルアップを目指します。					
3 主な実施事業	(1)施設整備計画 (1)施設整備事業 ウッドデッキ改修工事 715千円			(1)施設整備実績 ウッドデッキ改修工事 531千円		
(2)事業活動	(2)事業活動 ①花植え活動・菜園活動 事業所玄関前花壇を、年間を通じて活用し、四季折々の景色を形成します。また事業所西側に畑を作り、ご利用者様に育てる喜び、食の楽しさを提供します。 ②食生き活動 ア 毎月の誕生会には対象のご利用者様の希望を聞き、誕生会メニューを提供し、会話の中で様々な思いや記憶を引き出しながら楽しみにしていただき、食欲増進や生きる喜びに繋げていきます。 イ 日々の献立、行事食等、ご利用者様にも調理等に関わっていただき、機能維持や楽しさを提供します。 ウ 五感で楽しむ食と地産地消を推進した食事を提供します。 ③日中活動 ア ご利用者様の機能を活かした音楽活動を行います。歌謡に重点をおいた日中活動を行い、ご利用者様のなじみの曲を歌ったり、流したりして居心地の良い空間作りや仲間づくりに繋がります。 イ 季節に合わせた創作活動により季節感を感じていただく等、認知症状への取り組みをしていきます。また、文化祭や各作品展に展示し、ご利用者様の社会参加を促します。			(2)事業活動 ①事業所前の花壇の花植え、事業所西側の花壇に野菜植えをご利用者様と行った。 ②ご利用者様の嗜好に合わせたメニュー作成を実施した。また、季節の合わせたおやつ作りも行った。また、調理の一部をご利用者様と職員で会話を楽しみながら実施した。地元の食材を取り入れた食事を提供した。 ③日々ご利用者様に、昔ながらの音楽を視聴していただき、昔を懐かしんでいただくとともに、歌の流行した当時を回想して、それをご利用者様間の会話に繋げ、居心地のよい環境を作った。 四季ごとの創作物を作成し、ご利用者様の手指の運動とともに、季節感を感じていただく工夫を施した。		

	<p>④生活機能向上活動 リハビリテーションを実施している医療提供施設の専門職と連携し、助言を受けることのできる体制を構築し、自立支援・重度化防止に資する介護を推進します。</p> <p>⑤地域行事参加活動 ア 近隣の地域の行事や催しへの積極的な参加や、事業者や法人で開催する行事や催しに地域の方をご案内する等、地域との密接な関係づくりに努めます。 イ ご利用者様から馴染みの地域や行事、行ってみたい場所を聞き、地域との繋がりがづくりや認知症状への取り組みをしていきます。</p> <p>⑥地域への貢献活動 福祉の里において開催される行事にご利用者様と参加し、地域住民との親睦交流とご利用者様への様々な良い効果に繋がります。</p> <p>⑦パーソナリティサポート ご利用者様個々が持っておられる特性や培われた経験をもとに、ご利用者様の「～したい」を取り入れた個別支援に取り組みます。</p> <p>⑧オンライン面会 新型コロナウイルス感染予防対策として直接の面会を制限する場合には、タブレット端末を活用したオンラインでの面会を提供し、ご利用者様がご家族様や知人と会う楽しみを維持します。</p>	<p>④感染症対策等あり、実績なし</p> <p>⑤外出行事は、随時、ご利用者様の希望される場所、なじみの場所の外出を取り入れた。 法人内・事業所内での行事は、感染対策を行い実施した。 法人内・事業所内での行事は、感染対策を行い実施した。 地域の方々の参加は、感染予防の観点からなしとした。 ご利用者様のニーズの高い外食ツアー4年ぶりに実施した。 ⑥ご利用者様に、福祉の里まつり・福祉の里文化祭に参加していただき、地域の方々との親睦を図った。</p> <p>⑦ご利用者様の誕生日に個々の希望に沿ったパーソナリティサポート(個別支援)を実施した。 (例:希望の商業施設での買い物、なじみの飲食店での食事、昔からよく知る知人と会い語らう等)</p> <p>⑧随時、タブレットを活用したオンライン面会を行った。オンライン面会について広報誌を通じてご家族様及び関係者に通知した。</p>
<p>4 安全管理・衛生管理</p>	<p>(1)「気づき」の観察力を高めるため、ヒヤリ・ハットを実践することにより、リスクマネジメントとして分析し、事故防止に努めます。</p> <p>(2)設備・備品等の整理整頓・福祉用具のメンテナンスなど環境整備に努めて行きます。</p> <p>(3)感染症予防に向け衛生管理と衛生教育の徹底を図ります。</p> <p>(4)新型コロナウイルス感染症については、感染予防のため。「手洗い」「手指のアルコール消毒の徹底」、屋外も含め短時間でも会話の際にはマスクを着用し、三密を避け、危機管理意識を持って感染予防の徹底を図ります。 基本的な感染予防を継続して実践し、ご利用者様の安心安全を確保します。 ご利用者様・ご家族様・施設職員とその同居家族・施設関係者等に感染が疑われる方があれば法人本部と密接に連携し、対応フローを活用し初動対応に努めます。</p> <p>(5)送迎業務の運転手について健康状況や体調等を把握し、適任者により運転をさせるとともに、必要に応じて運転手以外にも介護職員を同乗させるなどして、安全な送迎に配慮します。</p> <p>(6)車両について使用前の日常点検などの安全管理を徹底するほか、運転の状況などを把握するため、運転日誌等の記録を行います。</p> <p>(7)職員に対し、道路交通法等関係法令を遵守し交通安全に努めるように、研修などを通じて安全教育を実施します。</p> <p>(8)業務開始前と業務終了後にアルコール検知器によるアルコールチェックを行い、飲酒運転防止に努めます。</p> <p>(9)不審者からご利用者様を守るため、近隣地域、住まいの地域、行政、警察と連携を図り、安全のためのネットワークづくりに努めます。また、そのために必要な研修を実施します。</p>	<p>(1)毎月の職員会議において、ヒヤリ・ハットの実践結果を検証し、職員の危機管理意識を高めた。また、検証結果を事故防止につなげた。</p> <p>(2)事業所内の備品の整理を定期的に行った。また、車いす、歩行器、介助バーなどの福祉用具について、不具合があれば速やかに修理し、ご利用者様の安全・安心に努めた。</p> <p>(3)職員細菌検査を実施した。(月1回、7～9月は2回) インフルエンザ予防接種、職員健康診断(年2回)を実施した。</p> <p>(4)ご利用者様、ご家族様、職員、職員家族、来訪者等の検温と健康状態の把握を日々、及び随時実施した。 また、定期的な換気・手指消毒・マスク着用・パーティションの設置を行い、感染予防に努めた。</p> <p>(5)職員の体調やご利用者様の体調により、複数での送迎を適宜行った。</p> <p>(6)送迎の前後に車両の外観確認を行った。公用車について、運行日誌を日々記入し、運行状況の管理を行った。</p> <p>(7)職員会議にて、交通安全に関する注意喚起を行い、交通安全への意思統一を図った。</p> <p>(8)1日の業務の始業前と終業後にアルコール検知器によるアルコールチェックを実施、法令遵守に努めた。</p> <p>(9)実績なし</p>

<p>5 防火・防災・救助体制</p>	<p>災害対応マニュアルにより、防災及び災害時の人命の安全、被害の軽減を図ります。</p> <p>(1) 防災管理者を中心に、入居ご利用者様の実態に即した防災訓練(年2回)の計画、実施を行い、また、防災活動への参加、地域防災情報の把握に努めます。</p> <p>(2) 有事に迅速な対応ができる環境整備を進めるとともに、スプリンクラー等の点検、防災設備の点検を行い、ご利用者様の安全の確保を行います。</p> <p>(3) 近隣自治公民館との連携による緊急時避難体制を確立します。</p> <p>(4) 地震、風水害等の自然災害及び火災に備え、食料品・日用品・防災品・衛生品等の必要品を備蓄します。</p>	<p>(1) 日中想定と夜間想定 of 防災訓練を実施した。(日中1回 夜間1回) 水害対策訓練を実施した。(年1回)</p> <p>(2) 業者による消防用設備定期点検を実施した。(年2回)</p> <p>(3) 消防用設備自主点検を実施した。(年6回)</p> <p>(4) 3日分の備蓄品を備蓄・管理した。</p>
<p>6 職員の資質の向上と研修</p>	<p>(1) サービス評価 事業所サービス評価(自己評価と運営推進会議における外部評価)を実施し、サービスの質の確保・向上に努めるとともに、サービス評価の改善計画を定期的に検証します。(月1回)</p> <p>(2) 外部評価 年間計画のもと、知能技術習得を始め、感性や価値観のレベルアップを目標とした研修に参加します。</p> <p>(3) 法人内部研修への参加 ① 関係職員が法人内研修に参加し、定期的に内部研修を行います。 ② 職員全体で共有を図り、資質向上を目指した活動に繋がります。 ③ オンラインによる研修に積極的に参加します。</p> <p>(4) 施設内のOJT・職場研修の実施 ① 実務経験の少ない職員については、介護技術・知識取得のための研修を行いレベルアップを図ります。 ② 定期的研修: 年間計画をもとに随時行います。 ③ 外部研修: 年間計画をもとに積極的に参加する。また、毎月の職員会議にて伝達研修を都度開催し、専門性を高めレベルアップを図ります。(職員個々の希望も聞きスキルやモチベーションの向上と各資格取得に努めます。)</p> <p>(5) 委員会活動 ご利用者様へのサービス内容の改善及び職員組織の活性化と資質向上を図ることを目的として次の委員会を実施します。 ① 職員会議(月1回) ② 介護士会議(モニタリング)(月1回) ③ 給食委員会(年4回) ④ 感染対策委員会(月1回) ⑤ 虐待防止検討委員会(月1回)</p> <p>(6) 職員の資格取得のための取組み 法人が定めた「国家資格等取得者に対する助成要領」による資格取得に対する助成制度を活用し、職員の資格取得意欲の増進とキャリアアップを促します。</p> <p>(7) 職員間の日常的な連携、報告・連絡・相談の徹底 職員間の情報共有のため、申し送りノートを作成・活用し、ご利用者様の情報はもとより、細かいことでも気づいたことを可視化して全職員での情報共有と意思統一を図ります。また、記入された事項については、朝・夕の申し送りにおいて伝達し、より効果的な実践に努めます。業務においては、職員やご利用者様、ご利用者様ご家族、外部関係機関の方々が話しやすい、入りやすい環境づくりに努め、皆様の満足感ある運営を行います。</p>	<p>(1) 事業所サービス評価を実施した。(毎月の職員会議で振り返った。)</p> <p>(2) 鳥取県社会福祉協議会が実施する介護専門職研修に参加し、知識技能取得を図った。参加職員が職員会議で報告を行い、研修内容の共有を図った。 ・認知症実践者研修を受講した。 ・福祉職員キャリアパス対応生涯研修(初任者コース)を受講した。</p> <p>(3) 法人内WEB研修に多職種の職員が参加した。職員会議で内容を復命した。</p> <p>(4) 新たに採用となった職員に対し、新任研修を実施し、段階を踏んだ指導を行った。</p> <p>(5) 職員会議、介護士会議を月1回行った。 給食委員会、感染対策委員会、虐待防止検討委員会を各年3回行った。</p> <p>(6) 実績なし</p> <p>(7) 職員間の情報共有において、日々申し送りノートに細かく情報を書き、全職員への周知徹底に努めた。申し送りノートの内容については、朝・夕の申し送りで口頭でも伝え、職員の情報への理解が深まるように努めた。 業務においては、職員からの先んじての挨拶、会話の開始を心掛け、親しみやすい環境作り構築に努めた。</p>

7 SDGsの取り組み	<p>○目標2 飢餓をなくそう 嗜好と栄養を両立した食事を提供し、食材の使用法、在庫の管理を行い、食品ロスを最小限に努めます。</p> <p>○目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 安定したエネルギー確保の観点から、以下の節電対策を行います。 ・エアコンの室外機に断熱シートを敷き、効率よい使用に努めます。 ・エアコンの室内温度を夏季は28℃、冬季は20℃を目安に設定します。 また、適宜、パーソナル扇風機や保温器具を使用し、仕事の能率の支障のないように努めます。</p> <p>○目標11 住み続けられるまちづくりを 事業所近隣地域において、清掃活動、コスモス街道の取組を行い、住みやすいまちづくりに寄与します。</p> <p>○目標14 海の豊かさを守ろう 事業所職員と家族、ご利用者様が一体となってエコキャップ推進運動を展開し、環境保全に努めます。</p>	<p>○目標2 ご利用者様の嗜好を取り入れたメニューを作成した。それにより、残食の減少につながった。</p> <p>○目標7 エアコンの室外機に断熱シートを敷き、エアコンの効率のよい使用に努めた。 エアコンの設定温度をこまめに管理し、無駄の少ないエアコン使用に努めた。</p> <p>○目標11 福祉の里近隣地域の清掃活動を行い、住みやすいまちづくりに寄与した。</p> <p>○目標14 事業所職員と家族、ご利用者様とその家族が、ペットボトルのキャップ収集を行い、エコキャップ推進運動を展開した。</p>
8 職員の健康維持・増進	<p>・職員健康診断を実施し、健康状態を把握するとともに、課題があれば対策を講じ、職員の健康増進を図ります。(年2回)</p> <p>・職員の心身のリフレッシュ、腰痛予防のため、毎日、ラジオ体操・ストレッチ運動を行います。</p> <p>・メンタルヘルスケアのためにストレスチェックを行い、個々のストレス軽減を図ります。</p>	<p>・職員健康診断を年2回行った。担当医師の所見を施設長と職員が確認し、要治療や要検査の職員へ早期の受診を促す等、健康維持活動を行った。</p> <p>・職員の心身のリフレッシュ、腰痛予防のため、毎日、ラジオ体操・ストレッチを午前中に行った。</p>
9 各種団体との連携と地域交流	<p>近隣地域の民生・児童委員の方々や地域の方々に事業所見学の促進を図るとともに、地域サロンでの介護・認知症予防教室・健康や介護相談も含めた交流会を開催し地域貢献に努めます。</p> <p>地域の行事への参加、各種ボランティア団体の受入れ、コミュニティーセンター学校、保育園、施設等との積極的な交流を図ります。</p> <p>地域の方も対象とした研修会や講習会を開催する。また、地域で開催される研修会や講習会に参加します。</p> <p>(1)地域と事業所・ご利用者様との交流 ・地域の老人会と定期的な交流を図り、相互理解とご利用者様の生活の質の向上を図ります。 ・当事業所主催で、地域の小学校にて認知症絵本教室を開催し、認知症理解の啓発活動に努めます。 ・高城さわやか人権文化センターにて地域交流サロンを開催し、地域住民との交流を図ります。</p> <p>(2)コスモスプロジェクト(花植え活動) 事業所前の市道沿いにコスモスを植え、近隣住民の方へうらおいと癒やしの空間を提供します。コスモスの咲くころを見計らい、コスモス交流会を開催します。</p> <p>(3)広報誌の発行・配布 発行回数:4回/年 配布先:ご利用者様(ご家族様)、倉吉市、地元自治会、地域包括支援センター、居宅介護事業所、病院連携室、ボランティア団体</p> <p>(4)地域交流行事 5月:開設記念祭 8月:福祉の里夏祭り 9月:敬老祝賀会 10月:コスモス交流会 11月:福祉の里文化祭、社小学校との交流会 12月:クリスマス会、地域交流もちつき</p>	<p>・社地区民生児童委員の方々との交流会を開催した。</p> <p>・社小学校4年生を対象に認知症理解のための絵本教室を開催し、認知症理解の啓発活動に努めた。</p> <p>・事業所前の市道沿い、玄関前にコスモスを植え、うらおいと癒しの環境を提供した。</p> <p>・広報誌を年4回(4月、7月、10月、1月)発行した。ご利用者様、ご家族様、各居宅介護事業所、病院地域連携室等に配布した。また、西福守町自治公民館の各班に回覧した。</p>

季節・年間行事

施設名： 小規模多機能型居宅介護事業所やしろ

実施月	行事計画	行事实績
令和5年 4月	・花見茶会 ・花見外出 ・誕生日会	・花見外出(4月1日～10日各所・随時)
5月	・開設記念祭 ・誕生日会	・開設記念祭兼誕生日会(12日)
6月	・外食行事 ・誕生日会 ・法人保育園粽づくり	・外食行事(旧赤碕町・海)(12・13・14日)
7月	・七夕昼食会 ・誕生日会 ・社五輪祭り	・ドライブ外出(随時)
8月	・やしろ夏祭り ・誕生日会 ・福祉の里まつり	・やしろ夏祭り兼誕生日会(9日)
9月	・敬老祝賀会 ・誕生日会 ・法人内保育園運動会	・福祉の里まつり(9日) ・シルバースロパチ大会(パチンコ玄海・14日)
10月	・運動会 ・誕生日会	・運動会兼誕生日会(18日) ・福祉の里文化祭(28日)
11月	・誕生日会 ・福祉の里文化祭 ・社小学校交流会	・紅葉ドライブ(1日船上山 2日関金 8・9日奥津)
12月	・クリスマス会 ・誕生日会 ・もちつき大会	・クリスマス会兼誕生日会(25日) ・もちつき大会(28日)
令和6年 1月	・新年祝賀会 ・誕生日会 ・とんど祭り	・初詣ドライブ(2・3日小鴨神社 9日神崎神社) ・新年祝賀会兼誕生日会(10日) ・とんど祭り(15日)
2月	・節分祭 ・誕生日会	・節分祭兼誕生日会(2日)
3月	・ひな祭り ・誕生日会	・ひな祭り兼誕生日会(13日)